



Automated
External
Defibrillator



忘れないで、AEDの点検



公益社団法人 北海道臨床工学技士会

Hokkaido Public Interest Incorporated Association for Clinical Engineering Technologists

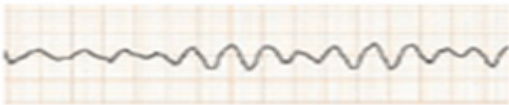


置いておくだけで ”安心”していませんか？

AED(自動体外式除細動器)は“いのちに関わる医療機器”です



AEDは2004年7月に一般使用が解禁されてから、全国に広く普及し、約20万台(2008年現在)が設置されています。心臓の異常なけいれんに対しては、**1分1秒でも早く適切な処置(電気ショック)**が行われることが望めます。救急車が到着するまでの間、**AEDによる迅速な電気ショックで救命率の向上**が期待されます。実際に一般の方によるAEDの使用で救命された事例も多く報告されています。



心室細動



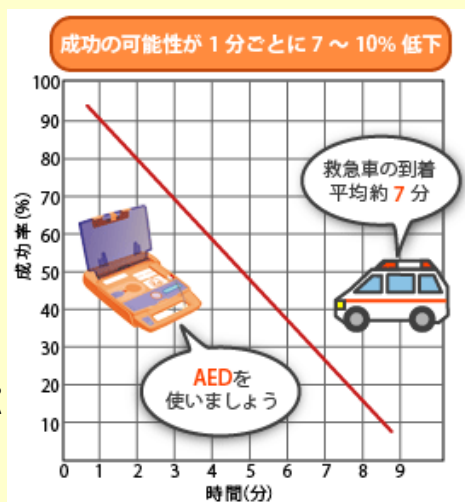
正常なリズム



電源は入りますか？

設置から約6年「いざ救命時に電源が入らなかった」という事例も報告されています。背景には“**AEDも点検が必要**”という意識があまり一般に浸透していないことが一因として挙げられます。

AEDは設置しただけで安心せず、設置後は点検担当者を配置し、本体や消耗品(電極パッドやバッテリー)の確認をするなどして、**日常的な点検を実施していくことが大切です。**



医薬品医療機器総合機構に「不具合が疑われる」と報告されたトラブルは04~08年で計約70件。半数以上が「電源投入不能」などの電源関連。(2009年9月16日 日経新聞朝刊より抜粋)

“いざ”という時、救えるいのちを救うため
日常的な点検実施をお願いします。



いつでも使えるように 点検をお願いします

インジケータの確認



AEDは毎日自動でセルフチェックを行い、本体が使用できる状態かどうかを“インジケータ”と呼ばれるところに色やマークで表示します。使用不可の場合はメーカーへ問い合わせるなどすみやかな対応をお願いします。

バッテリー残量の確認

バッテリーは使わなくても消耗し、交換時期を過ぎたものや残量が少ない状態では電源が入らない場合もあります。また寿命は目安であり、使用環境やメーカーによって異なりますので、日常的に残量の確認をお願いします。



(例)長寿命リチウムバッテリー
X213



(例)ライフパック1000
使い捨てリチウムバッテリー

電極パッドの確認



(例)Medtronic
LPCR Plus交換キット

(例)使い捨てパドル
P-590



使用期限が切れたパッドでは、電気ショックの効果が十分に得られなかったり、熱傷の原因になります。また使い捨てですので、開封したものは新品への交換をお願いします。



日常点検表はインターネットでダウンロードできます。

AED各製造販売業者のホームページでは日常点検表を掲載しています。合わせて参考にしてみてください。



□AED製造販売業者問い合わせ先

- 株式会社エムビーエス（販売業者：大宇ジャパン株式会社）
製品名：パラメディック（Paramedic）
問い合わせ先：（大宇ジャパン株式会社） 0120-915-256又は03-3224-7143
ホームページ：<http://japan.daewoo.com/index.jsp>

- 日本光電工業株式会社
製品名：カルジオライフ（cardiolife）
問い合わせ先：AED保守受付センタ 0120-233-821
ホームページ：<http://www.nihonkohden.co.jp/aed/>

- 日本メドトロニック株式会社
製品名：ライフバック（LIFEPAK）
問い合わせ先：ライフバックお客様センター 0120-715-545
ホームページ：<http://www.medtronic-lifepak.com/>

- 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
製品名：ハートスタート（HEARTSTART）
問い合わせ先：AEDコールセンター 0120-802-337
ホームページ：<http://www.philips.co.jp/>

□資料制作

公益社団法人 北海道臨床工学技士会

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>